

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 株式会社タカギセイコー 上場取引所 東
 コード番号 4242 URL http://www.takagi-seiko.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠井 千秋
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石黒 勝己 (TEL) 0766-24-5522
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	38,262	△3.6	144	△65.7	26	△91.7	△78	-
25年3月期第3四半期	39,705	4.1	423	23.5	313	32.4	9	-

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 441百万円(509.0%) 25年3月期第3四半期 86百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△5.86	-
25年3月期第3四半期	0.71	0.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	44,340	10,432	18.4
25年3月期	42,294	10,067	18.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 8,170百万円 25年3月期 7,909百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	1.00	-	1.00	2.00
26年3月期	-	1.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	1.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,950	△2.8	740	61.4	420	△21.7	60	△63.2	4.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期3Q	13,659,860株	25年3月期	13,653,860株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	197,664株	25年3月期	194,441株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	13,462,577株	25年3月期3Q	13,457,297株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権による経済対策や金融緩和等を契機として、円高の是正や株価の上昇が進み、先行きに回復の兆しも見え始めています。しかしながら、欧州財政問題や、中国の経済成長の鈍化が鮮明になりつつある等、先行き不透明な状況も依然として続いておりました。

当業界におきましても、緩やかな回復基調にはあるものの、原油、ナフサ価格の上昇傾向等もあり、楽観できない事業環境となりました。

一方、海外市場においては、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化による需要縮小の懸念、また欧州における財政問題や、新興国における通貨安等による景気減退の懸念もあり、今後の状況を注視する必要があります。このような状況の中、開発面においては、経済産業省による革新的新構造材料等技術開発「熱可塑性CFRPの加工技術の開発」に係る委託先に選定される等、環境負荷軽減に配慮した新製品・新技術・新材料の研究とともに顧客ニーズに対応するための既存製品の改良・改善及び応用技術開発を実施する等、開発先行型企业であり続けるための活動を継続する一方、営業面においては新技術及びグローバルネットワークを活かした積極的な提案営業を展開するとともに、製造面においても品質の向上、コストの低減及び短納期対応に全力で取り組むとともに最適地生産体制を構築する等、開発、営業及び製造が一体となり、お客様満足度の向上に努めました。

しかしながら、国内における通信機器分野・車両分野での受注数量の減少が主要因となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は、38,262,538千円（前年同四半期比3.6%減）となりました。損益面では海外における材料費・労務費の増加等により営業利益は144,981千円（前年同四半期比65.7%減）、経常利益は26,092千円（前年同四半期比91.7%減）、税金等調整前四半期純利益は77,702千円（前年同四半期比80.1%減）、四半期純損失は78,940千円（前年同四半期は四半期純利益9,491千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

成形品事業、特に通信機器分野・車両分野での受注数量の減少により、売上高は22,109,675千円（前年同四半期比18.0%減）、営業損失は36,279千円（前年同四半期は営業利益88,047千円）となりました。

② 中国

OA分野での受注数量の増加により、売上高は9,662,225千円（前年同四半期比41.1%増）となり、営業利益は79,908千円（前年同四半期は営業損失174,934千円）となりました。

③ 東南アジア

インドネシア・タイにおける車両分野での受注数量の増加により、売上高は6,490,637千円（前年同四半期比10.0%増）となったものの、材料費・労務費の増加等により営業利益は133,969千円（前年同四半期比71.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、22,519,303千円となり、前連結会計年度末と比べ1,584,870千円増加しました。これは、仕掛品の増加(1,165,900千円増)が主な要因であります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は、21,821,323千円となり、前連結会計年度末と比べ461,138千円増加しました。これは、機械装置及び運搬具の増加(556,192千円増)が主な要因であります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、21,241,892千円となり、前連結会計年度末と比べ1,886,795千円増加しました。これは、支払手形及び買掛金の増加(1,573,092千円増)が主な要因であります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は、12,666,626千円となり、前連結会計年度末と比べ205,403千円減少しました。これは長期借入金の減少(264,765千円減)が主な要因であります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、10,432,108千円となり、前連結会計年度末と比べ、364,617千円増加しました。これは為替換算調整勘定の増加(309,230千円増)、その他有価証券評価差額金の増加(56,675千円増)が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績予想につきましては、平成25年10月31日発表の業績予想から変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法等によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,323,262	2,785,225
受取手形及び売掛金	10,104,862	9,749,168
商品	135,338	226,086
製品	817,744	765,445
原材料	915,937	1,226,945
仕掛品	2,016,565	3,182,465
貯蔵品	153,916	237,264
繰延税金資産	196,447	195,529
未収入金	2,364,626	2,537,988
その他	908,236	1,615,597
貸倒引当金	△2,504	△2,411
流動資産合計	20,934,432	22,519,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,565,505	4,849,413
機械装置及び運搬具(純額)	3,459,883	4,016,075
土地	6,170,490	6,159,839
建設仮勘定	506,199	185,985
その他(純額)	2,718,853	2,760,665
有形固定資産合計	17,420,931	17,971,979
無形固定資産		
ソフトウェア	90,010	93,396
のれん	148,185	129,475
その他	140,652	167,198
無形固定資産合計	378,849	390,070
投資その他の資産		
投資有価証券	1,302,904	1,129,178
出資金	137,146	161,063
繰延税金資産	1,430,887	1,426,745
その他	811,537	864,358
貸倒引当金	△122,071	△122,071
投資その他の資産合計	3,560,404	3,459,274
固定資産合計	21,360,185	21,821,323
資産合計	42,294,617	44,340,627

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,537,546	10,110,639
短期借入金	2,079,877	3,098,899
1年内返済予定の長期借入金	4,693,969	4,118,100
未払法人税等	123,487	127,052
賞与引当金	378,138	159,337
その他	3,542,077	3,627,862
流動負債合計	19,355,097	21,241,892
固定負債		
長期借入金	7,532,323	7,267,557
退職給付引当金	4,371,864	4,333,700
役員退職慰労引当金	202,770	211,595
その他	765,071	853,771
固定負債合計	12,872,029	12,666,626
負債合計	32,227,126	33,908,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,089,139	2,089,805
資本剰余金	1,775,571	1,776,237
利益剰余金	4,368,347	4,262,483
自己株式	△47,854	△48,684
株主資本合計	8,185,203	8,079,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△64,788	△8,113
繰延ヘッジ損益	△2,971	△2,534
為替換算調整勘定	△208,196	101,033
その他の包括利益累計額合計	△275,957	90,385
新株予約権	13,134	12,936
少数株主持分	2,145,110	2,248,944
純資産合計	10,067,490	10,432,108
負債純資産合計	42,294,617	44,340,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	39,705,158	38,262,538
売上原価	35,263,645	34,127,809
売上総利益	4,441,513	4,134,728
販売費及び一般管理費	4,018,275	3,989,746
営業利益	423,237	144,981
営業外収益		
受取利息	9,624	8,231
受取配当金	20,753	25,203
為替差益	2,598	55,755
作業屑売却収入	38,968	45,250
助成金収入	9,637	8,001
その他	79,209	66,429
営業外収益合計	160,792	208,872
営業外費用		
支払利息	243,621	278,577
その他	26,484	49,184
営業外費用合計	270,105	327,761
経常利益	313,923	26,092
特別利益		
固定資産売却益	7,133	13,651
投資有価証券売却益	76,390	66,746
負ののれん発生益	8,150	—
特別利益合計	91,674	80,398
特別損失		
固定資産売却損	913	1,868
固定資産除却損	8,170	26,919
貸倒引当金繰入額	5,820	—
ゴルフ会員権評価損	80	—
特別損失合計	14,984	28,787
税金等調整前四半期純利益	390,613	77,702
法人税等	191,459	117,606
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	199,154	△39,903
少数株主利益	189,662	39,037
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,491	△78,940

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	199,154	△39,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,667	56,754
繰延ヘッジ損益	△23,377	437
為替換算調整勘定	△69,513	398,771
持分法適用会社に対する持分相当額	210	25,759
その他の包括利益合計	△112,346	481,722
四半期包括利益	86,807	441,819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△66,345	287,402
少数株主に係る四半期包括利益	153,152	154,417

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	中国	東南アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	26,957,259	6,845,998	5,901,900	39,705,158
セグメント間の内部売上高 又は振替高	571,920	289,511	607	862,039
計	27,529,180	7,135,510	5,902,507	40,567,198
セグメント利益又は損失 (損失は△)	88,047	△174,934	474,811	387,924

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 中国…中華人民共和国、香港

(2) 東南アジア…インドネシア、タイ

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	387,924
セグメント間取引消去	35,313
四半期連結損益計算書の営業利益	423,237

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

東南アジアにおいて平成24年5月29日に、連結子会社であるP.T. タカギ・サリマルチウタマの株式を追加取得したため、8,150千円の負ののれん発生益を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	中国	東南アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	22,109,675	9,662,225	6,490,637	38,262,538
セグメント間の内部売上高 又は振替高	627,594	423,785	3,670	1,055,050
計	22,737,270	10,086,011	6,494,307	39,317,588
セグメント利益又は損失 (損失は△)	△36,279	79,908	133,969	177,598

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度によっております。
 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) 中国…中華人民共和国、香港
 (2) 東南アジア…インドネシア、タイ

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	177,598
セグメント間取引消去	△32,616
四半期連結損益計算書の営業利益	144,981

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。